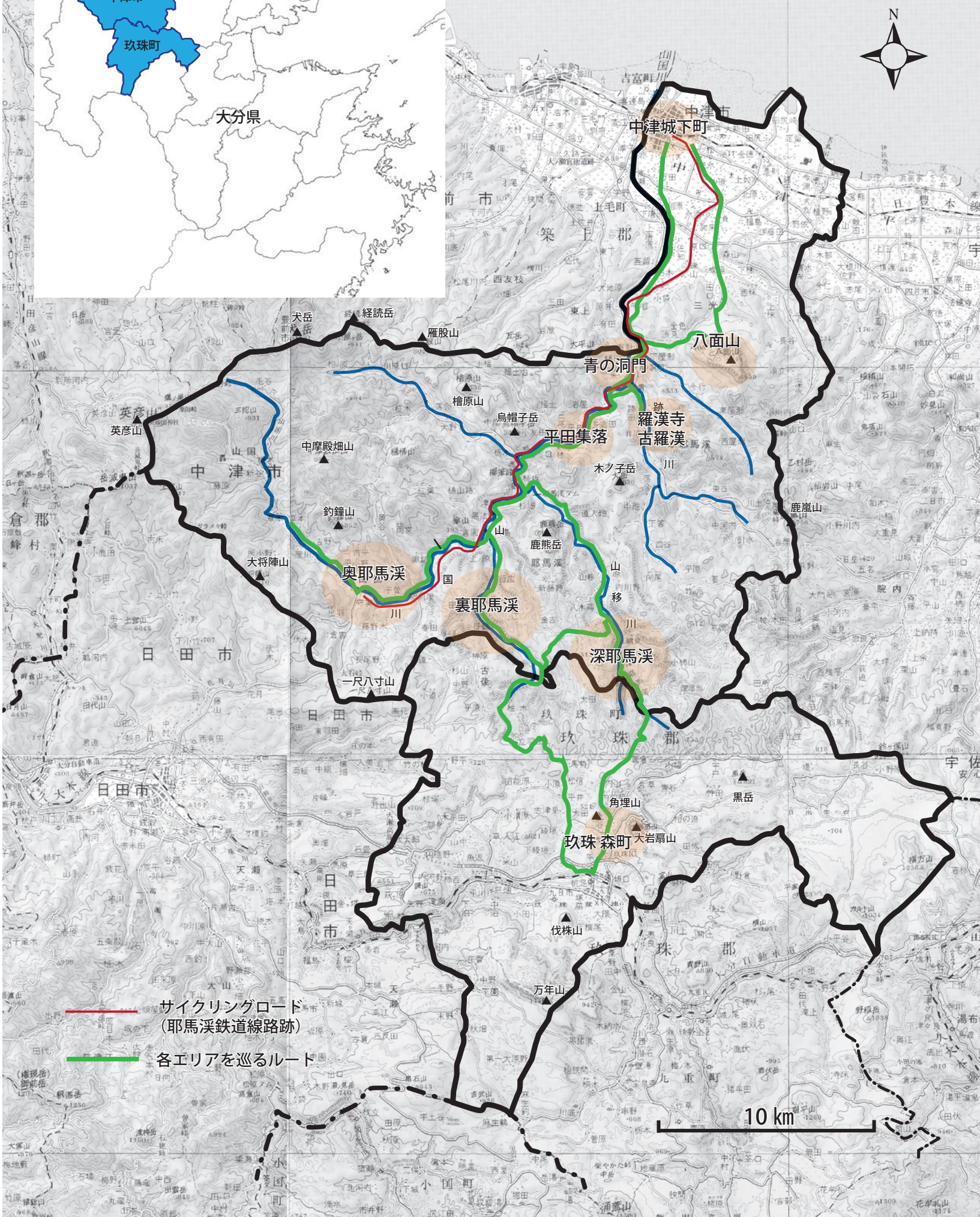


① 申請者	なかつし くすまち ◎中津市 玖珠町	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
<p>耶馬溪とは、川が溶岩台地を浸食した奇岩の溪谷で、石柱の断崖、岩窟、滝、巨石が大パノラマをつくっています。その深く神秘的な地形は伝説と祈りの場所となり、山水画のような風景は文人画人憧れの地でもありました。1000年以上の昔から、人々は岩から仏、石橋、洞門、庭園と、優れた作品を生み出し、広大な大地に配しては回遊路でつないでいき、大正時代ついに一本の絵巻物のようにまとめあげました。次々と場面が展開する「耶馬溪」という山水絵巻に入り込み、空から、谷底から、遊覧の旅をお楽しみください。</p>			
<div style="text-align: center;">  <p>吉田初三郎の鳥瞰図「天下無二 耶馬全溪の交通図絵」</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>天にのびる石柱群</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日本最古の五百羅漢</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>溪流の甌穴群</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>谷々に伝わる河童祭り</p> </div> </div>			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名	大分県中津市教育委員会社会教育課文化財室 高崎章子		
電 話	0979-22-1111 (代表)	FAX	0979-22-1492 (代表)
E-mail	bunka@city.nakatsu.lg.jp		
住 所	〒871-8501 大分県中津市豊田町 14 番地 3 中津市役所		

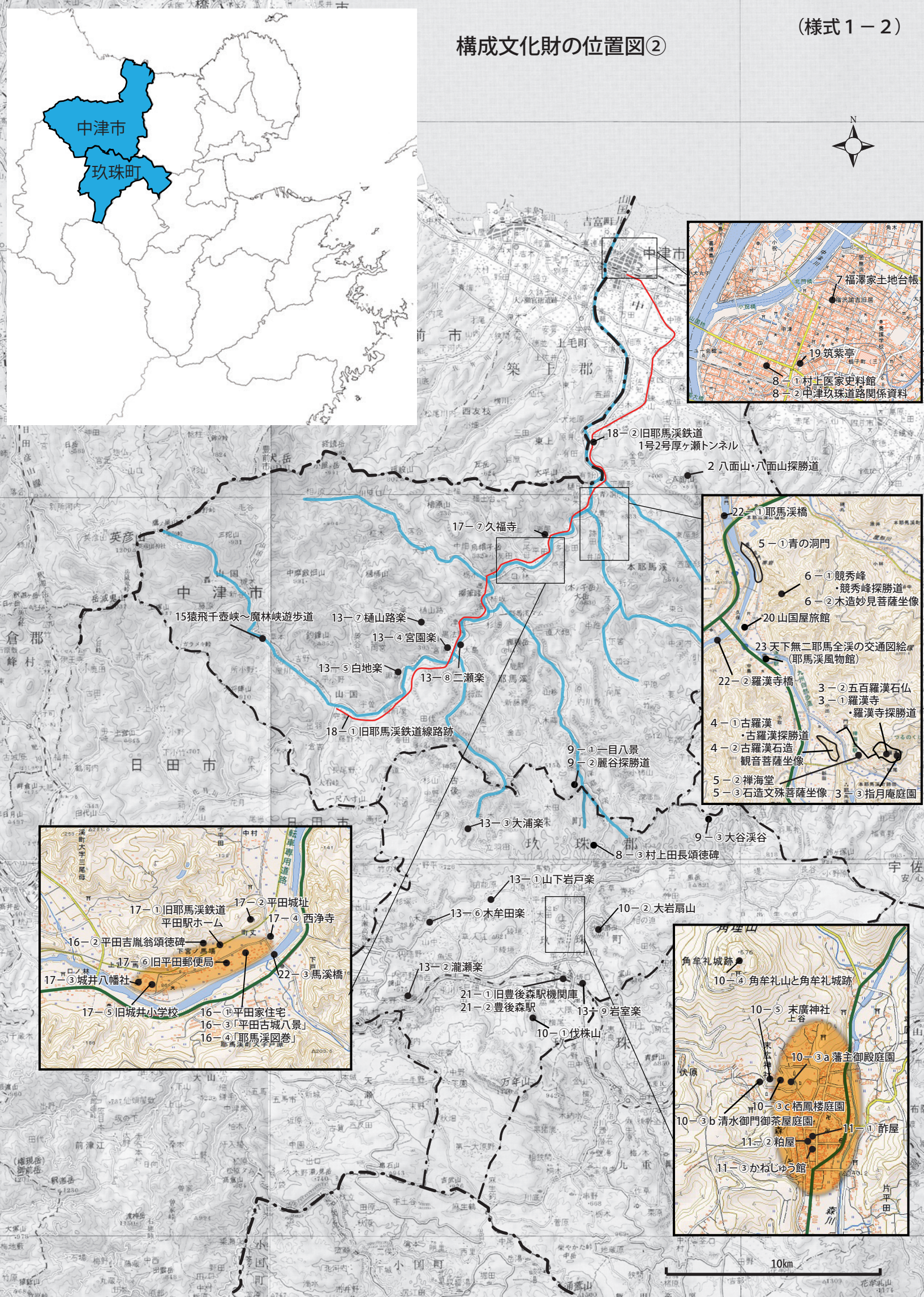
市町村の位置図

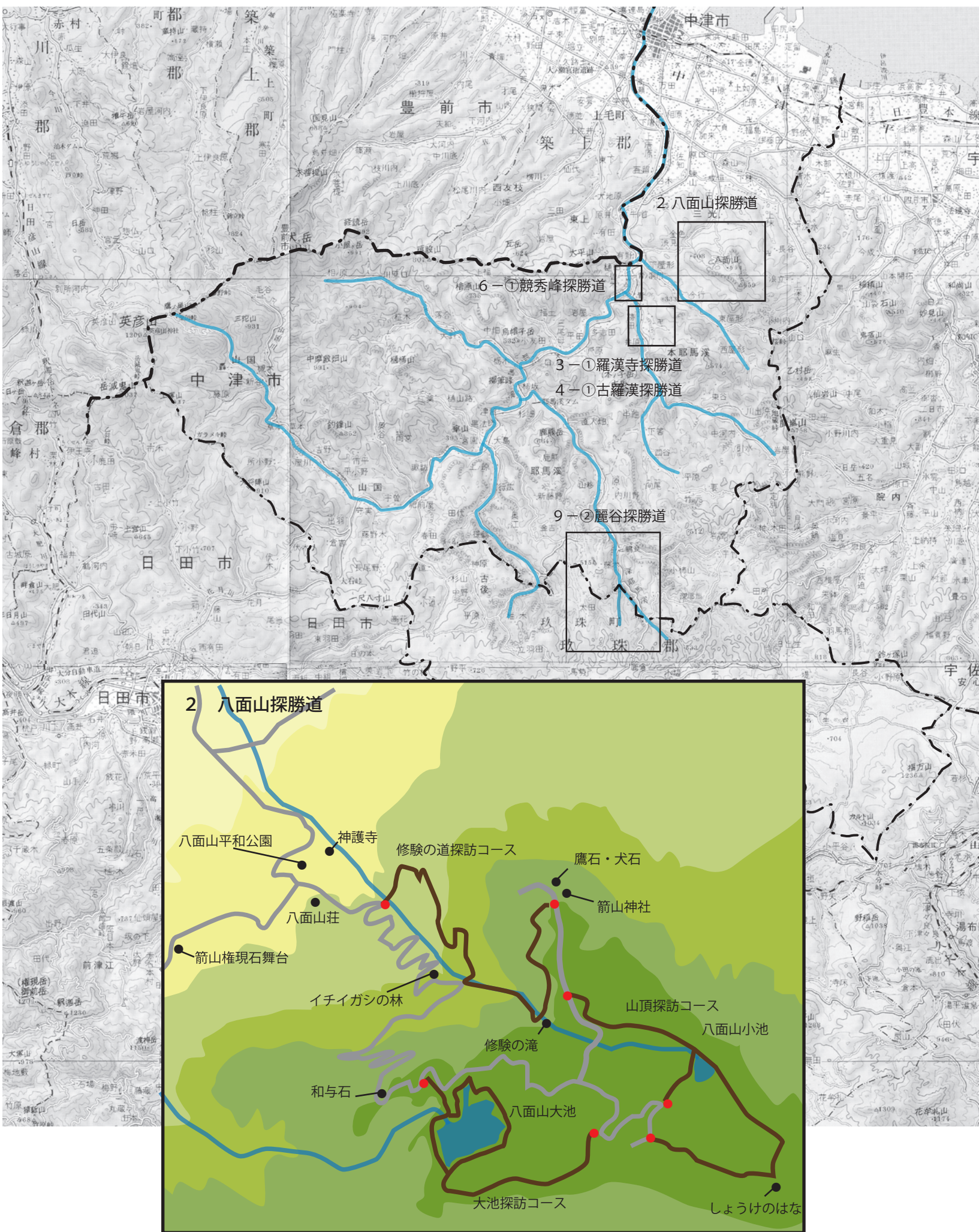


構成文化財の位置図①



構成文化財の位置図②







ストーリー

耶馬溪とは、山国川が溶岩台地を深く浸食してつくりだした奇岩の溪谷で、中津・玖珠の二つの城下町に挟まれています。南北 32 km 東西 36 km の敷地に、断崖、岩窟、溪流が大パノラマをつくり、その深く神秘的な地形は伝説と祈りの場所となりました。人々が時をかけ岩を削り想いを描き、一本の絵巻のようにまとめあげた「耶馬溪」の遊覧の旅に出かけましょう。

【巨石伝説の山ー八面山ー】

海辺の城下町中津を出発しまず目に入るテーブル状の山は、耶馬溪の入口、様々な伝説を持つ巨石が群をなす霊峰「八面山」です。修験の滝や奇岩を巡り頂に登れば、北は中津平野と周防灘、南は耶馬溪～玖珠の山々まで、広々とした眺望が開けます。約 1000 年前の平安時代より、八面山を中心に、古代仏教文化が花開き、人々は周辺の岩屋に仏を安置していきました。

【絶壁をつたい仏に会うー羅漢寺・古羅漢ー】

八面山から望む岩山を目指し、参道の細く長い石畳の先に岩窟の寺院「羅漢寺」があります。羅漢寺と、対岸に盛り上がるごつごつとした峰「古羅漢」の探勝道では、人々は二千体の石仏を彫り、仏の教えを伝える意味をもたせて配しました。天然の石橋や岩窟、岩肌に巡らせた鎖をつたい登れば、約 650 年前の室町時代に彫られた日本最古の五百羅漢石仏が迎えてくれます。山腹に中津藩主が築いた「指月庵」庭園は、文人画人達が眺望を愛でつつ酒を酌み交わし創作をする場でもありました。

【岩窓にさす光、断崖からの眺望ー青の洞門・競秀峰ー】

羅漢寺から下った山国川沿いには、屏風を立て並べたように折れ重なる巨大な岸壁「競秀峰」が現れます。この岩壁沿いの道から川に落ち命をなくす人々を救うため、約 200 年前の江戸時代、「禅海和尚」は 30 年かけてトンネル「青の洞門」を掘りました。岩窓からさす光に照らされた無数のノミ跡から和尚の熱い想いが伝わる洞門の暗がりを抜けると、競秀峰の尾根道から見渡す眼下に断崖と溪流が織りなす絶景が広がります。ここは「福澤諭吉」が土地を買い開発から守った景勝地です。

【岩峰せまる神秘の谷ー深耶馬溪ー】

川沿いの青の洞門を登ち玖珠へ向けて奥深く分け入ると、岩峰が覆いかぶさるように迫る溪谷に入ります。ここは約 120 年前の明治時代、中津出身で玖珠郡長の「村上田長」が困難を乗り越え中津と玖珠をつなぐ道路を開鑿して姿を現した秘境「深耶馬溪」です。切り立った奇峰に八方ぐると囲まれる「一目八景」、いくつもの一枚岩の滝が連続し薄暗い谷底から見上げる細い空に岩峰がそびえる「麗谷」や「大谷溪谷」の神秘的な空間は「天下の勝地」と呼ばれ新しい観光地となりました。

【テーブルマウンテンに囲まれた町ー玖珠の森城下町ー】

細くほの暗い深耶馬溪を抜け視界が突然開けると櫛歯状の断崖「大岩扇山」が出迎え、日本一小さな城下町とよばれる「角埋山」麓の森城下



八面山にある雨乞い伝説の巨石



五百羅漢が安置された岩窟



諭吉が守った景観



一目八景の奇峰



庭園から望む大岩扇山

町に辿りつきます。明治時代の大火を乗り越え 100 年前耶馬溪観光の出入口として再興した城下町の中心は、城の構えを持つ神社に、巨石を大胆に展開する藩主の庭園。奇峰の谷から一転「伐株山」^{きりかぶさん}をはじめとしたテーブル状の山並みに包まれると巨大な箱庭に迷い込んだ心地がします。

【石柱が天を突く河童の隠れ里－裏耶馬溪・奥耶馬溪－】

森城下町から西に回遊すると、によきによきと伸びる石柱群の裾に集落が寄り添う「裏耶馬溪」に到着し、さらに西へ山国川を遡った先の源流の地「奥耶馬溪」では、石が何万年もの時をかけ川底に穴をあけた甌穴群^{おうけつぐん}の水辺が続きます。川の音しか聞こえない自然の中の温泉と暖かなすっぽん料理が旅人を癒し、奥深い谷や岩窟^{おうちど}は落人伝説を生み、あちこちの谷で平家の落人が子河童となり登場する河童祭りが伝えられています。のどかな楽の音にのり飛び跳ね、いたずらをしてはカラフルな大団扇^{おうちわ}で追い詰められる子河童たちが住む里です。

【馬溪翁の町－平田集落－】

こうした耶馬溪の歴史・文化を熟知し耶馬溪に尽した「平田吉胤」^{よしたね}は、大正時代、平田集落に駅や郵便局を建て石橋をかけ水路を引き寺社を復興し耶馬溪の中心集落として作り上げました。「馬溪翁」^{ばけいおう}と称された吉胤は、町づくりの仕上げに二階建ての自宅に三階をのせ景観を見せる場としました。耶馬溪の迎賓館でもあった三階の間の窓は広々と三方に開かれ、窓越しに見る平田氏のものだった山々は座敷の障壁画のようです。

【一つになった耶馬溪】

古来より文人画人を惹きつけ、あまたの絵が、詩が、文学が生まれた溪谷で、奇岩奇峰に包まれ暮らす人々は、岩から仏、寺院、石橋、庭園・・・と優れた作品を生み出し、大地に配していきました。トンネルを掘り、道を開き、観光列車「耶馬溪鉄道」をひき、探勝道を巡らせ、日本一の長さを競う石のアーチ橋を次々と架けることでそれぞれの作品を回遊路で一つになぎ、自由に廻れるようにした大正時代の終わり、ついに天下無二^{てんかむに}の芸術作品「耶馬溪」が完成しました。中津駅周辺には料亭が建ち並び、翌朝から耶馬溪へ発つ観光客は鱧料理^{はも}をはじめとした豊前海の魚に舌鼓を打ち、霊泉（温泉）巡りツアーも開催されました。平家の落人が伝えた蕎麦は耶馬溪名物となり、溪谷の茶屋では蕎麦をゆでる湯気が立ち上るようになりました。さらに、昭和初期の豊後森駅^{ぶんごもりえき}開業で新たな耶馬溪の玄関口ができ、玖珠町側からも回遊できるようになりました。

このように耶馬溪には 100 年前の大正時代の観光客が楽しんだ山水画のような景観、温泉、無数の探勝道がちりばめられています。文人画人が舌鼓を打った川魚や猪鹿料理、巻柿^{まきがき}や羅漢寺土産だった栗饅頭を楽しみながら、中津から玖珠へ、玖珠から中津へ。自動車・自転車・自らの足で、大地に描かれた山水絵巻に入り込み、空から谷底から、回遊路を巡りまた次の探勝道へ。時をかけ季節をかえて、次々と場面が展開する耶馬溪遊覧の旅をお楽しみください。



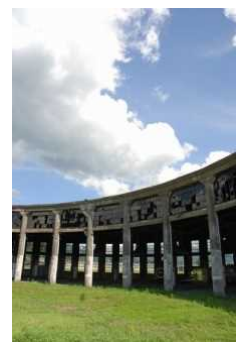
溪流の甌穴群



河童祭り（追いつめられる子河童）



三階建てに改造した平田邸



豊後森駅の旧機関庫



耶馬溪の大パノラマを望む

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
1	やばけい 名勝耶馬溪	国名勝	中津～玖珠間にある、山国川とその支流が溶岩台地を深く浸食してつくりだした奇岩の溪谷。	中津市 玖珠町
【巨石伝説の山ー八面山ー】				
2	はちめんざん 八面山と八面山探勝道	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	テーブル状の八面山は古代信仰の山で点在する巨石はいくつもの伝説を持つ。巨石群や石塔、修験の滝などを巡り頂に登ると周防灘から耶馬溪、玖珠までの眺望が広がる。	中津市
【絶壁をつたい仏に会うー羅漢寺・古羅漢ー】				
3	羅漢寺と羅漢寺探勝道 ①羅漢寺・羅漢寺探勝道	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	1338 年開山の日本国内の羅漢寺の総本山。山全体に配置された無数の石仏、天然の石橋や窟をたどることで仏教の教えを体感できる探勝道となっている。	中津市
	②五百羅漢石仏	国重文	山道の階段や探勝道の崖を這いだどりついた先の岩窟で、日本最古の五百羅漢石仏が出迎えてくれる。	中津市
	③指月庵庭園	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	中津藩主小笠原氏によって、羅漢寺の奥の断崖にはりつくように造られた庭園。庭園から見渡す谷の一角には、古羅漢のごつごつとした岩山が盛り上がる。	中津市
4	ふるらかん 古羅漢と古羅漢探勝道 ①古羅漢と古羅漢探勝道	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	羅漢寺対岸の霊峰。ごつごつした岩山が盛り上がる異様な景観。探勝道で窟や、お堂、石仏、石塔などをまわる。	中津市
	②古羅漢石造観音菩薩坐像	県有形	古羅漢に架けられたお堂に安置された石仏。石仏の膝から正平 17 年(1362) 年銘が入ったお経と歯が発見され、羅漢寺石仏の基準作となった。	中津市
【岩窓にさす光、断崖からの眺望ー青の洞門・競秀峰ー】				
5	青の洞門関連遺産 ①青の洞門	県史跡	18 世紀、川の栈橋から落ち命を落とす人々を見て、羅漢寺の禅海和尚が村人とともに 30 年かけほりあげたトンネル。対岸から見る絶壁に並ぶ岩窓と洞内の岩窓から覗く景色が楽しめる。	中津市
	②禅海堂	未指定	大正 14 年、参道沿いの禅海和尚の墓前に造られた堂。	中津市

	せきぞうもんじゅぼさつざう ③石造文殊菩薩坐像 (禅海和尚の墓) つげたりぜんかいおしょういひん 附伝禅海和尚遺品	市有形	石造文殊菩薩坐像は、旧参道沿いの窟に禅海和尚自身が生前墓として製作させたもの。禅海和尚遺品は、和尚が洞門を掘った時の道具や持ち物。	中津市
6	きょうしゅうほう 競秀峰と競秀峰探勝道 ①競秀峰と競秀峰探勝道	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	山国川右岸に起立する岩峰群は約 1 km に渡る迫力ある景観で、巨大な屏風を立て並べたよう。尾根伝いの探勝道は窟や鎖場、仏をめぐる折りの道。	中津市
	もくぞうみょうけんぼさつざう ②木造妙見菩薩坐像	県有形	競秀峰探勝道にある妙見窟に安置された平安時代の木造物。	中津市
7	ふくざわ 福澤家土地台帳	未指定	競秀峰の景一帯の土地を開発から守るため、福澤諭吉が土地を買い上げた記録となる土地台帳。	中津市
【岩峰せまる神秘の谷ー深耶馬溪ー】				
8	でんちやう 村上田長 関連遺産 ①村上医家史料館	市史跡	田長が暮らした江戸後期建築の村上家そのままの内部を楽しむことができる史料館。	中津市
	②中津玖珠道関係資料 a 明治期の玖珠郡地図 b 深耶馬溪道路地図 c 明治 21 年玖珠郡長日誌 d 村上田長表彰状	未指定	a. 手書きの地図。田長が新道開通を目指し現地調査を行ったもの。 b. 道路設計図の写し。中津玖珠間の道と、急峻な勾配への対策として設計された国内最古のループ橋「舞鶴橋」の図面。 c. 玖珠郡長時代の田長が記した日誌。中津玖珠道路の開通を巡って苦労している様子がうかがえる。 d 村上田長の死後、大正 12 年に玖珠郡から田長におくられた感謝状。新道開発が流通・観光に役立ったことへの感謝の言葉が綴られている。	中津市
	しょうとく ひ ③村上田長 頌徳碑	未指定	中津～玖珠間の道路開鑿に奔走した玖珠郡長の村上田長の功績をたたえる石碑。昭和 15 年、中津と玖珠の境界に建てられた。	玖珠町
9	ひとめはつけい しんやばけい 一目八景と深耶馬溪探勝道 ①一目八景	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	一目八景は深耶馬溪の中心部で、土産物屋や茶屋が並ぶ。一か所にいて八方を奇怪な岩峰に囲まれることから一目八景と呼ばれる。	中津市 玖珠町
	うつくしだに ②麗谷探勝道	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	麗谷の谷底を歩く上級者向けの探勝道でいくつものスロープのような滝が連続し神秘的な風景が展開する。	中津市 玖珠町

	③大谷溪谷 <small>おおたに</small>	未指定	一枚岩の浅瀬が 10 km 続く谷で、初心者でも沢歩きが楽しめる。	中津市 玖珠町
【テーブルマウンテンに囲まれた町ー玖珠の森城下町ー】				
10	森町の庭園とテーブルマウンテン <small>きりかぶさん</small> ①伐株山	未指定	玖珠町で最も有名な「伐株山伝説」の舞台。山城だった山頂からはテーブルマウンテン（頂上がテーブルのように平らな山）に囲まれた玖珠盆地が一望でき、遠く中津市の八面山まで望める眺望は初三郎の鳥瞰図そのもの。	玖珠町
	②大岩扇山 <small>おおがんせんざん</small>	国天然	万年山、伐株山とともに玖珠町の地形を代表する印象的な山。深耶馬溪から風景が一変する象徴的な役割を果たす。	玖珠町
	③旧久留島氏庭園 <small>きゅうくるしま していえん</small> a 藩主御殿庭園 <small>はんしゅ ごとんていえん</small> b 清水御門御茶屋庭園 <small>しみずごもんおちや えていえん</small> c 栖鳳楼庭園 <small>せいほうろうていえん</small>	国名勝	小藩ゆえに城をもてなかった藩主が城郭のように再興した神社と御殿に配置した庭園は、約 100 年前耶馬溪観光の入口として玖珠町の中心的な観光ポイントとなる。	玖珠町
	④角埋山と角牟礼 <small>つのむれさん つのむれ</small> 城跡 <small>じょうあと</small>	一部国名勝 (名勝耶馬溪) 国史跡	旧久留島氏庭園はこの城跡の麓にある。展望所からは伐株山をはじめとしたテーブルマウンテンに包まれる玖珠盆地が一望できる。	玖珠町
	⑤末廣神社 <small>すえひろじんじゃ</small>	一部県有形	大岩扇山を正面にして、森藩主の久留島氏が城郭化したと言われる境内を持つ。	玖珠町
11	森町の町並み ①酢屋 ②粕屋 ③かねじゅう館	①国登録有形 ②③未指定	久留島氏が整備した城下町。明治の大火で被災したが、玖珠郡庁が置かれ玖珠盆地を支える商業都市となった。大正時代、耶馬溪観光の入口としても栄えた。町には豪商の粕屋、酢屋等、明治末～大正期の歴史的建造物が多く残る。	玖珠町
【石柱が天を突く河童の隠れ里ー裏耶馬溪・奥耶馬溪ー】				
12	裏耶馬溪の景観	一部国名勝 (名勝耶馬溪)	によきによきと天にのびる細長い岩峰のすぐ近くに集落が広がる南面的風景が魅力。 平家の落人の伝説が残り、後藤又兵衛が身を隠したと言われる竈ヶ窟や又兵衛の墓がある、耶馬溪の中のさらなる「かくれ里」である。	中津市 玖珠町

13	河童祭り ①山下岩戸楽 ②瀧瀬楽 ③大浦楽 ④宮園楽 ⑤白地楽 ⑥木牟田楽 ⑦樋山路楽 ⑧二瀬楽 ⑨岩室楽	①②③ 県無形民俗 ④⑤ 市無形民俗 ⑥⑦⑧⑨ 未指定	河童となった平家の落人の霊を慰めるために始まったといわれる秋祭り。河童が登場する楽打ちはこの地域で独自に発展していったもの。いたずらをする子河童を大団扇でおいつめこらしめる。	④⑤⑦⑧ 中津市 ①②③⑥⑨ 玖珠町
14	耶馬溪温泉	未指定	耶馬溪は谷ごとにたくさんの温泉がある。溪谷の自然の中で温泉につかれ、川の音しか聞こえない別天地でくつろぐことができる。	中津市 玖珠町
15	<small>さるとびせんつぽきょう</small> 猿飛千壺 峡～ <small>ま ばやしきょう</small> 魔林 峡 遊歩道	国天然 国名勝 (名勝耶馬溪)	山国川の源流近く、急流によって川の中の石が回転し、川底に無数の穴があいた甌穴(おうけつ)が群をなす不思議な景観。下流側の魔林峡から上流の猿飛千壺峡まで川沿いに遊歩道があり、石橋や吊り橋を渡りながら楽しめる。	中津市
【“馬溪翁”が描いた町－平田集落－】				
16	<small>ひらたよしたね</small> 平田吉胤関連遺産 ①平田家住宅	国登録	耶馬溪の名勝指定にも貢献した平田吉胤の住宅。 周辺の景観を見せて客をもてなすために三階を増築した。耶馬溪の迎賓館的役割をもち、三階の間は三方全面が窓として開け、かつて平田家の土地であった山々が窓越しに障壁画のように展開する。	中津市
	<small>ひらたよしたねおうしょうとくひ</small> ②平田吉胤翁頌徳碑	未指定	石碑の文字は若槻禮次郎、碑文は国府犀東で、吉胤の耶馬溪への功績を記している。	中津市
	<small>ひらたこじょうはっけい</small> ③「平田古城八景」	未指定	田山花袋とともに耶馬溪を旅した小杉放庵が描いた平田城址からの風景画を集めて装丁し吉胤にプレゼントした冊子。平田邸や馬溪橋等が描かれている。	中津市
	<small>や ばけいずかん</small> ④「耶馬溪図巻」	未指定	小杉放庵が、吉胤につれられて訪れた平田城址からの景色を中心に巻物にし、吉胤にお礼として贈ったもの。絵には平田城址でピクニックを楽しむ田山花袋一行と、彼らに説明する吉胤も描かれている。	中津市

17	<p>平田集落の町並み</p> <p>①旧耶馬溪鉄道</p> <p>平田駅ホーム</p> <p>②平田城址</p> <p>③城井八幡社</p> <p>④西浄寺</p> <p>⑤旧城井小学校</p> <p>⑥旧平田郵便局</p> <p>⑦久福寺</p>	<p>①国登録有形</p> <p>②市史跡</p> <p>③～⑦未指定</p>	<p>平田義胤は自宅のある平田集落に駅（平田駅ホーム）を造り、郵便局（旧平田郵便局）を他から移転させ、石橋（馬溪橋）をかけ、水路をひき、小学校（旧城井小学校）を整備し、寺社（城井八幡社・西浄寺・久福寺）を復興・再建させ、平田を耶馬溪の中心集落につくりあげた。平田氏の土地であった平田城址からは吉胤がつくった平田集落が一望できる。</p>	中津市
【一つになった耶馬溪】				
18	<p>旧耶馬溪鉄道関連遺産</p> <p>①旧耶馬溪鉄道線路跡</p>	未指定	<p>大正2年に開通した耶馬溪鉄道は多くの観光客を耶馬溪へ運んだ。全線廃止後は線路跡はサイクリングロードとなった。</p>	中津市
	<p>②旧耶馬溪鉄道 あつがせ 1号2号厚ヶ瀬トンネル</p>	国登録有形	<p>大正2年に建設された、旧耶馬溪鉄道のトンネルで、石とレンガ造りの馬蹄形。一号と二号のトンネルが連続する。</p>	中津市
19	<p>ちくしてい 筑紫亭</p>	国登録有形	<p>明治34年創業、大正11年に大改修を行った木造三階建ての豪華な料亭。</p>	中津市
20	<p>やまくにやりよかん 山国屋旅館</p>	未指定	<p>明治に建築された青の洞門近くの旅館。</p>	中津市
21	<p>ぶんごもりえき 豊後森駅関連遺産</p> <p>①旧豊後森駅機関庫 きかんこ きゅうぶんごもりきかんこてん 旧豊後森機関庫転 しゃだい 車台</p>	国登録有形	<p>九大線のほぼ中間地にあり昭和9年の全線開通と同じ年に竣工した。これにより耶馬溪への鉄道でのアクセスは中津側からだけでなく、玖珠側からも可能となった。</p>	玖珠町
	<p>②豊後森駅</p>	未指定	<p>豊後森駅は昭和4年に開業。福岡方面からの耶馬溪観光客が降り立った。数少ない木造建築の駅舎は、当時のものを改築しながら現在まで伝わっている。</p>	玖珠町
22	<p>耶馬三橋</p> <p>①耶馬溪橋</p>	県有形	<p>大正12年3月に完成の日本唯一の8連橋。競秀峰の景を対岸から見せる観光用の橋で、長さ日本一。この橋により周回ルートができた。</p>	中津市

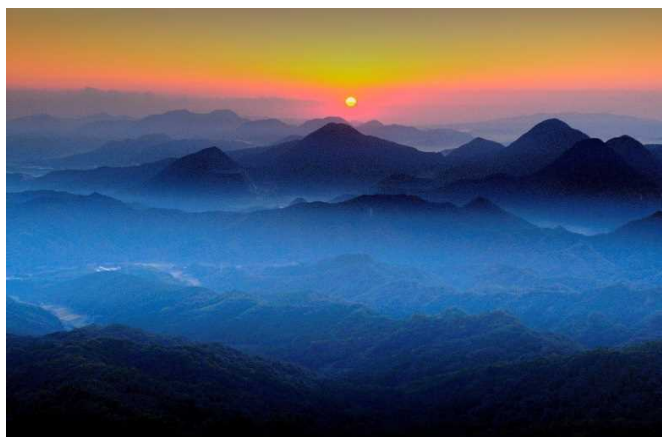
	②羅漢寺橋	県有形	大正 9 年完成の長さ日本 3 位の 3 連橋。羅漢寺駅に降りた羅漢寺参詣者が渡る橋となった。この橋により周回ルートができた。	中津市
	③馬溪橋 <small>ばけい</small>	市有形	大正 12 年完成の長さ日本 4 位の 5 連橋。平田吉胤が架けさせた橋。この橋により平田集落への周回ルートができた。平田集落の対岸から、溪流に五連の影を落とす美しい景観を見ることができる。	中津市
23	<small>てんかむにやばぜんけい</small> 「天下無二耶馬全溪の <small>こうつうずえ</small> 交通図絵」	未指定	日本の観光ブームをささえた吉田初三郎の鳥瞰図。大正 14 年に出版された、中津城下町から耶馬溪、玖珠までの道路、線路を描き、自動車で遊覧できる名所を描きこんだ観光案内図。	中津市
24	中津と玖珠の食 (海、山、川の恵み) ①中津の鰻料理 <small>はも</small>	未指定	一年中おいしい鰻がとれる中津では鰻料理が江戸時代から親しまれている。筑紫亭をはじめ、中津の料亭では鰻料理が盛んに提供される。	中津市
	②耶馬溪すっぽん料理	未指定	古来、耶馬溪を訪れた文人たちが味わった記録が残るアユやヤマメなどの川魚料理、うなぎやすっぽん料理は耶馬溪名物として親しまれてきた。	中津市
	③猪鹿料理	未指定	猪や鹿が多い耶馬溪では、古来、文人たちが味わった記録が残る猪肉や鹿肉を使った郷土料理が味わえる。	中津市
	④巻柿 <small>まきがき</small>	未指定	古来、耶馬溪を訪れた文人達が味わった記録が残る、干して吊るした柿を藁で巻き保存したお菓子。巻重ねており、輪切りにすると渦巻きの断面になる。	中津市
	⑤森町の栗饅頭	未指定	玖珠の森町の「七宝堂」は昭和元年創業で、羅漢寺土産としても売出された栗饅頭は今も玖珠の名物となっている。	玖珠町

【巨石伝説の山ー八面山ー】

2. 八面山と八面山探勝道



2八面山



2八面山探勝道(耶馬溪の山々を望む)



2八面山探勝道(周防灘を望む)



2八面山探勝道(中津平野を望む)



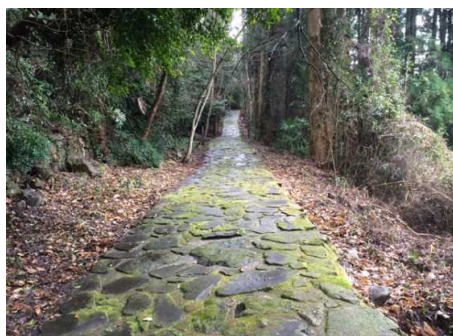
2八面山探勝道(伝説が伝わる巨石群)



2八面山探勝道(修験の滝)

【絶壁をつたい仏に会うー羅漢寺・古羅漢ー】

3. 羅漢寺と羅漢寺探勝道



3-①羅漢寺探勝道(旧参道の石畳)



3-①羅漢寺探勝道(仁王門)



3-①羅漢寺探勝道(磨崖仏龕)



3-①羅漢寺探勝道(崖を登ると地藏菩薩に迎えられ、天然の石橋を渡ると弥勒菩薩があらわれる)

3-①羅漢寺探勝道(山門への階段)



3-②五百羅漢石仏(五百羅漢を安置した岩窟。しゃもじに願い事を書

3-①羅漢寺本堂



3-③指月庵庭園

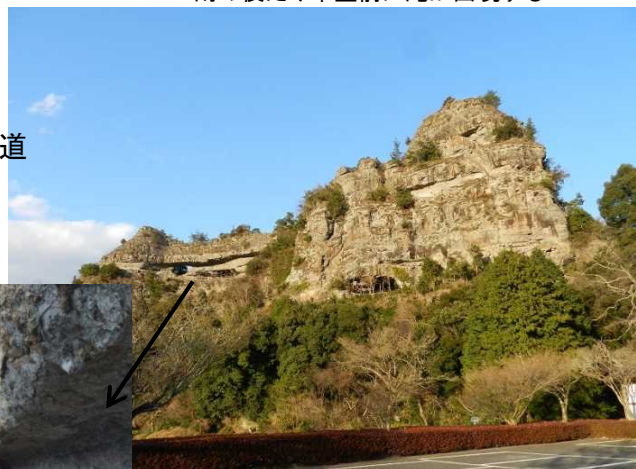


雨の後だけ本堂前に滝が出現する



3-②五百羅漢石仏

4. 古羅漢と古羅漢探勝道



4-①古羅漢



4-①古羅漢探勝道



4-①古羅漢探勝道(崖を登り、鎖をつたう)



古羅漢探勝道の頂に立つ古羅漢国東塔)



4-②古羅漢石造観音菩薩坐像・僧形像

【岩窓にさす光、断崖からの眺望―青の洞門・競秀峰】

5. 青の洞門関連遺産



5-①青の洞門(岩窓)



歌川広重「六十余州名所図会」に描かれた洞門

5-②禅海堂



5-③石造文殊菩薩坐像 附伝禅海和尚遺品(禅海堂に安置)

6. 競秀峰と競秀峰探勝道



6-①競秀峰(秋)(諭吉が守った景観)



6-①競秀峰(雪景色)



6-①競秀峰探勝道(展望所)



同じ展望所からの眺

昭和初期の観光客



6-①競秀峰探勝道入口の
“日本新三景の碑”



6-②木造妙見菩薩坐像



6-①競秀峰探勝道(諭吉が守った景観)



6-①競秀峰探勝道の尾根全景

7. 福澤家土地台帳



土地台帳を展示している福澤諭吉旧居・福澤記念館

【岩峰せまる神秘の谷－深耶馬溪－】

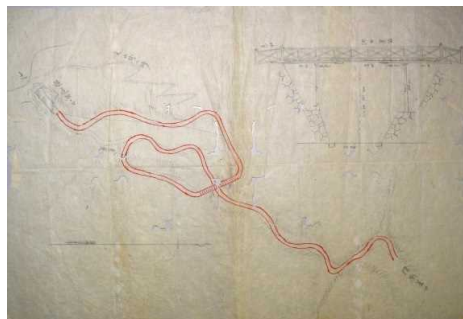
8. 村上田長関連遺産



8-①村上医家史料館



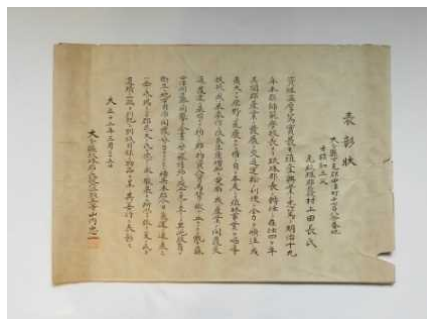
8-②中津玖珠道路関係資料(a 明治期の玖珠郡地図)



8-②中津玖珠道路関係資料
(b 深耶馬溪道路地図)



8-②中津玖珠道路関係資料
(c 明治21年玖珠郡長日誌)



8-②中津玖珠道路関係資料
(d 村上田長表彰状)



8-③中津玖珠道路関係資料
(村上田長頌徳碑)

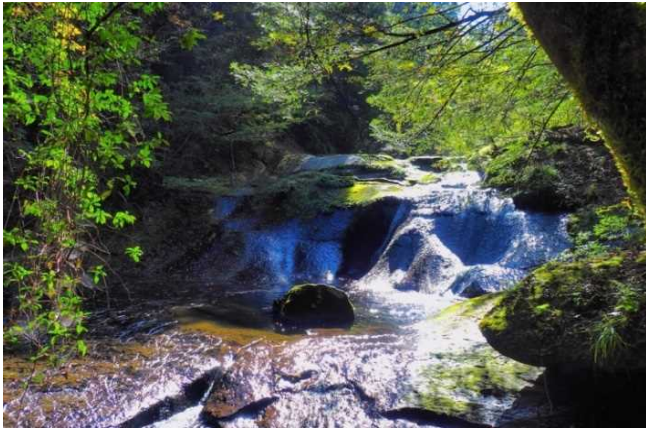
9. 一目八景と深耶馬溪探勝道



9-①一目八景(鳶ノ巣山の紅葉と雪景色)



9-①一目八景(茶屋の並ぶ深耶馬溪商店街と“ひさしもみじ”)



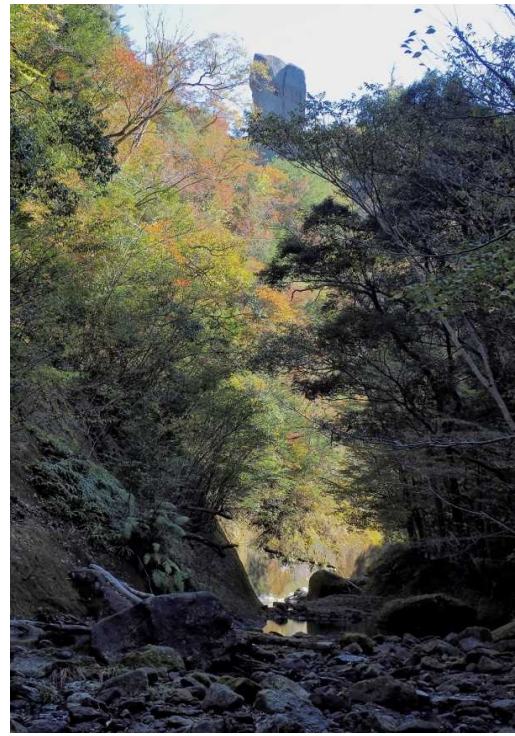
9-②麗谷探勝道(“水晶の滝”)



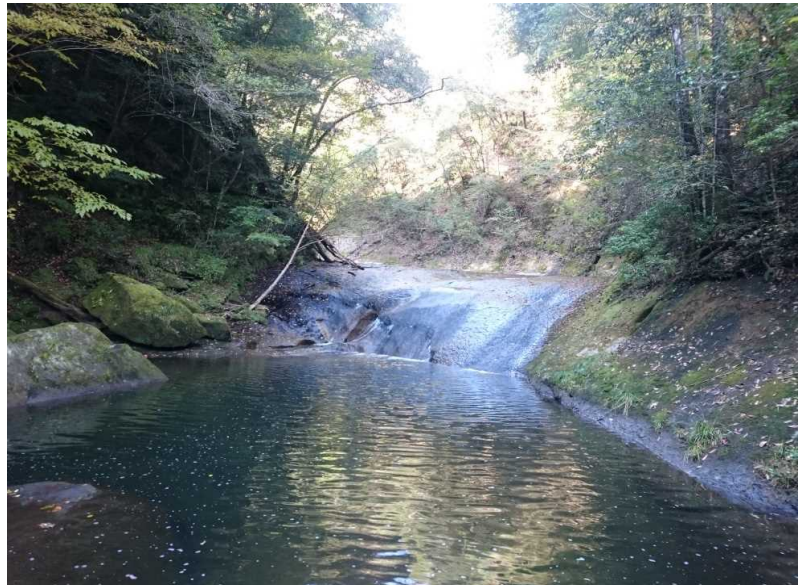
9-②麗谷探勝道(川中の転石が美しい造形を見せる)



9-②麗谷探勝道(一枚岩の浅瀬を徒歩でわたる)



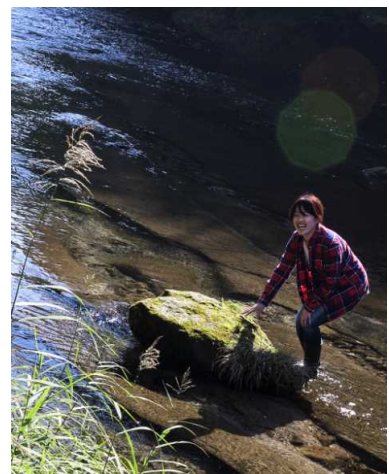
9-②麗谷探勝道(谷底から見上げた空にそびえる岩峰)



9-②麗谷探勝道(滑り台のような滝が連続する“布目の滝”)



9-③大谷溪谷(初心者でも溪谷の沢歩きを楽しめる)



【テーブルマウンテンに囲まれた町ー玖珠の森城下町
10. 森町の庭園とテーブルマウンテン



10-①伐株山



10-②大岩扇山



10-③旧久留島氏庭園 a藩主御殿庭園



10-③旧久留島氏庭園から見た大岩扇山



10-③旧久留島氏庭園 b清水御門庭園と清水御門



10-③旧久留島氏庭園 c栖鳳楼庭園



旧久留島氏庭園近くにある
田山花袋歌碑



10-④角埋山の角牟礼城跡



10-⑤末廣神社(城郭化した境内を持つ)



角牟礼城跡から見た森町全景

11. 森町の町並み



11-①酢屋



11-②粕谷



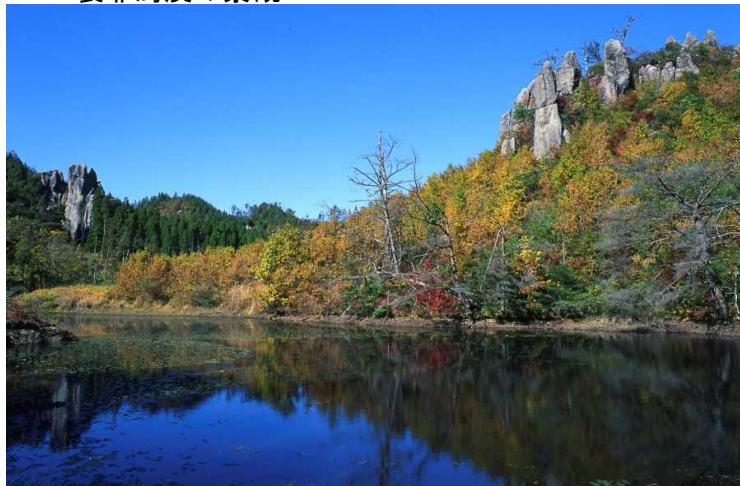
11-③かねじゅう館煉瓦蔵



明治末～大正期の建物が多く残る森町の町並み

【石柱が天を突く河童の隠れ里－裏耶馬溪・奥耶馬溪－】

12. 裏耶馬溪の景観



鶴ヶ原



立羽田



宇土



裏耶馬溪の岩峰遠望



伊福



13-③大浦楽



13-④宮園楽

13. 河童祭り



13-⑧二瀬楽の子河童

14. 耶馬溪温泉(自然の中の温泉)



深耶馬溪

裏耶馬溪(大谷溪谷)

15. 猿飛千壺峡～魔林峡遊歩道



夏の猿飛千壺峡

秋の猿飛千壺峡

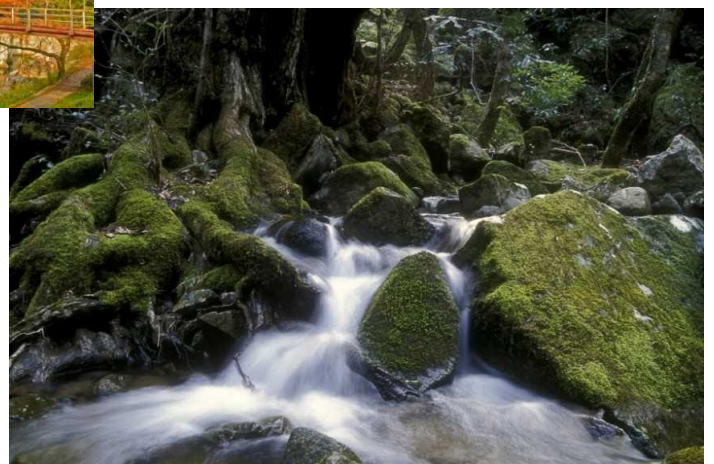
甌穴群



吊り橋

山国川源流

摩林峡の念仏橋



【馬溪翁の町ー平田集落ー】

16. 平田吉胤関連遺産



16-①平田家住宅



16-③「平田古城八景」



16-④「耶馬溪図巻」



17. 平田集落の町並み



16-②平田吉胤頌徳碑



17-①旧平田駅ホーム



17-③城井神社



17-④西浄寺とその奥の②平田城址



17-⑤旧城井小学校



17-⑥旧平田郵便局



馬溪橋(左)と平田集落遠景(右端が平田城址)



17-⑦久福寺のお堂と平田吉胤の名が残る天井画

【一つになった耶馬溪】

18. 旧耶馬溪鉄道関連遺産



鉄橋跡の自転車道



18-①旧耶馬溪鉄道線路跡
(現在はサイクリングロードとなっている)



18-②1号2号厚ヶ瀬トンネル(自転車道)

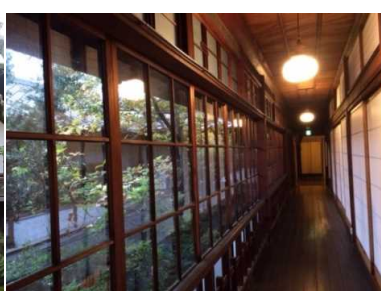


切通しの自転車道



杉木立の自転車道

19. 筑紫亭



20. 山国屋旅館



21. 豊後森駅関連遺産



21-①旧豊後森駅機関庫と転車台



21-②豊後森駅

22. 耶馬三橋



22-①耶馬溪橋(長さ日本1位)

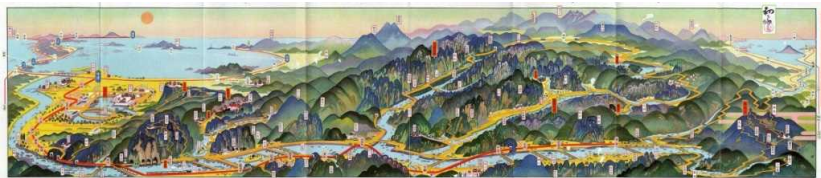


22-②羅漢寺橋(長さ日本3位)



22-③馬溪橋(長さ日本4位)

23.「天下無二 耶馬全溪の交通図絵」



24. 中津と玖珠の食(海、川、山の恵み)



24-①中津の鰻料理



24-⑤森町の栗饅頭



24-②耶馬溪すっぽん料理



24-③猪鹿料理



鹿の焼肉



24-④巻柿



巻柿が描かれた大正15年の画



滝めぐり(左が落合の滝・右が清水瀑園)



玖珠町の伐株山から耶馬溪の大パノラマを堪能



桜と溪流(冠石野)



ホタル狩り



紅葉狩り(御霊神社)



アユ釣り



山城めぐり(長岩城址)